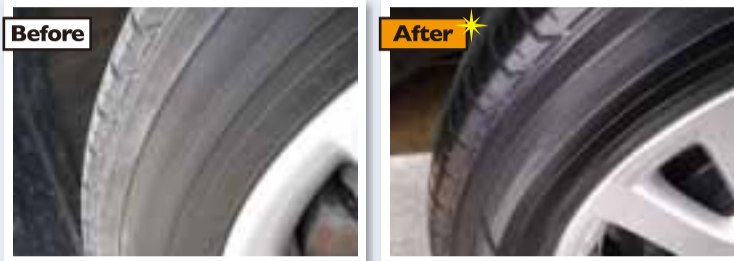


おしゃれは足元から。 より高品質なタイヤの美観を

「タイヤキーパー」は、複数の低分子シリコンと高分子シリコンを組み合わせた
超高濃バランスが半分の使用量で、2倍以上の保護効果と、しっかりと美観を作り出します。



TiRE KeePer



タイヤも塗装と同じように守りたい

自動車用のタイヤは、主に天然ゴム・合成ゴム・カーボンブラックなどからできています。その中でも特に天然ゴムは、紫外線や酸性雨などの攻撃によって劣化の進みが早く「ひび割れ」などの現象に結びつき、特に露天駐車に顕著です。タイヤのゴムの表面を保護するには、ゴムとの相性が良く柔軟性・密着性に優れた「シリコンオイル」(以下シリコン)が使われます。タイヤ表面に塗られたシリコンが紫外線や酸性雨を受け止め、タイヤの劣化を抑えます。

タイヤWAXには「油性」と「水性」があるが…

しかしシリコンは、濃度100%ではとても塗りにくく使えるものではありません。そこでシリコンを「水」あるいは「溶剤」で薄めて使うのが通常です。シリコンを界面活性剤を使って「水」に分散させたタイプを「水性タイヤWAX」と言い、シリコンを油性の「溶剤」で溶かしたタイプを「油性タイヤWAX」と言います。

タイヤメーカーは「油性タイヤWAX(透明)」を使わないよう注意を喚起している

油性タイヤWAXは、元々油性であるシリコンを油性の溶剤で溶かすだけですから、製造コストが非常に安くでき、安価です。しかもタイヤのゴムも油性なので、油性タイヤWAXは非常に塗りやすく、簡単にツヤも出ます。しかし、油性タイヤWAXの溶剤はタイヤに浸透してタイヤの分子組織を壊す力もあるので、タイヤの保護どころか、逆にタイヤを傷める要素になりかねません。だから、ほぼすべてのタイヤメーカーは、そのホームページで「油性のタイヤWAXは使わないで」と注意を喚起しているくらいです。

タイヤキーパーは複数の高分子シリコンと低分子シリコンの水性高濃度バランス

「タイヤキーパー」はもちろん「水性(乳白色)」です。しかし、SONAXとの共同開発で作ったオリジナルの製品であり、ただ単に「水性」であるだけではありません。複数の高分子シリコンと低分子シリコンを複雑に組み合わせ、SONAX独特の技法で水の中に微細なシリコン粒の分散状態を非常に高濃度に作り上げたものです。低分子シリコンがタイヤ表面の微細な凸凹に錨を降ろすように入り込んでしっかりと定着させ、複数の高分子シリコンがしっかりと紫外線などからの攻撃からガードします。

安いだけの水性タイヤWAXは性能が低く使用量が多い

市に出回っている安価な水性タイヤWAXには、コストを下げるために肝心のシリコンそのものは薄くして、見た目だけの高濃度感を出すためにかなりの「増粘剤」を添加している物が多くあります。しかし増粘剤は逆にタイヤへの定着を妨げる要因となって、ただでさえ薄い濃度のシリコンの定着を余計に妨げる要因になっています。これがタイヤ保護効果を低くすると同時に、塗りにくくなりケミカル使用量が増える要因にもなります。

タイヤキーパーは純粋に高濃度タイプ非常に塗りやすく使用量が確実に半分に減る

しかしタイヤキーパーは純粋に高濃度のシリコンで粘度が出ているタイプです。見た目の粘度を出すだけかえて性能を落とす要因になる増粘剤を使っていません。複数の組み合わせの高濃度シリコンは非常に伸びが良く、塗りやすくなってキチンと延ばせば使用量が劇的に少なくなります。もちろんタイヤの保護効果としっかりとしたツヤの良さは抜群のものがあります。

上質なシリコンはテカテカせずしっかりとしたツヤを長持ちさせる タイヤキーパーはタイヤWAXを超え、 タイヤコーティングの境地に

シリコンにも何百種類もあり、あまり質の高くないシリコンをタイヤに塗ると油性タイヤWAXのようにテカテカした下品なツヤになります。上質なシリコンはキチンとタイヤを保護する高い能力を持つと同時に、密着性が良いのでしっかりとした上質なツヤを出し、かつ、従来のタイヤWAXに比べて3倍程度の長期間の保護効果と美観を保ちます。タイヤキーパーはその優れた効果と美観で、今までのタイヤWAXからタイヤコーティングとも言える境地を拓いたのです。

クリスタルキーパーが大きなお客様の感動を作り出したように足元であるタイヤも感動の美しさを

クリスタルキーパーが、今までのコーティングとは異次元のツヤと深みのある色を作り出してお客様に大きな感動を持って受け入れられヒットしています。タイヤキーパーはおしゃれのポイントである足元、タイヤのしっかりとした美しさで、より大きなお客様の感動を作り出します。

非常にたくさんの人に使っていただきさらにコストダウンを実現

クリスタルキーパーがヒットして、タイヤキーパーもたくさんの人たちに使っていただくようになってきました。そこで製造ロット数と輸送ロット数を大幅に上げコストダウンを図りました。

施工方法 ……………



1.小分けポットに移す
あらかじめ10ℓ容器から小分けポットに移し替えておきます。
(推奨:マウンテンポット)

2.スポンジに付ける
小分けポットから今までの量の半分を塗布用スポンジに取ります。

3.タイヤに塗り込む
少し力を加えながらタイヤ全体に塗り込みます。
※タイヤに馴染み、光沢が出てきます

4.拭き上げる
乾いたタオル(ウエス)ですり込み、定着させます。
※しっかりと落ち着いたツヤになります



タイヤキーパーで使用量を半分に!

タイヤキーパーの使用量は「1台タイヤ4本で8cc」です。10ℓだと1,250台分、コストは5.9円/台です。

2月15日より ▶10ℓコンテナ箱(汎用タイヤWAX20ℓ分に匹敵) **7,350円**になりました。

3月1日から徳用の▶18ℓコンテナ箱(汎用タイヤWAX36ℓ分に匹敵) **11,800円**が **新発売!**